

家族防災会議を開き 家族で防災について話し合みましょう。

もし地震や津波、台風など災害が発生したときには、どこに避難しますか？
けがをしないために何に気をつければいいですか？
災害のときに一番頼りになるのは家族です。ぜひ、皆さんも「家族防災会議」
を開いて、日ごろから家族で防災について話し合っておきましょう。



一人ひとりの役割を決めましょう

災害が発生したときの役割を決めておきましょう。高齢者や乳幼児がいる場合は、保護する役割の人も決めておきましょう。



非常持出品・備蓄品をチェックしましょう

家族構成を考えながら必要なものがそろっているか確認するとともに、保存状態や使用期限をチェックし、必要に応じて交換しましょう。



連絡方法や避難場所を確認しましょう

家族が離ればなれになったときの連絡方法や避難場所を確認しましょう。



家や地域の危険箇所をチェックしましょう

自分の住んでいる家や地域は、どんな災害が起こりやすいかを知っておきましょう。



日頃から近所や地域とのつながりを持ちましょう。

大規模災害では隣近所すべてが被災者となることから、地域で助け合うことで被害を軽減し、災害を乗り切ることが必要となります。特に高齢者の方などがあるご家庭では、ご近所同士や地域の人々との日頃からのお付き合いが、いざという時の安心感につながります。
挨拶や声掛けをして、日頃から「顔の見える関係」を心がけましょう。



覚えておこう！

災害用伝言ダイヤル

171

災害伝言ダイヤルとは、災害発生時に安否情報などが声で確認できる「声の伝言板」です。事前契約は不要で、全国の一般電話、公衆電話、携帯電話から利用することができます。

※災害用伝言ダイヤルは、毎月1日と15日等に体験利用ができます。使い方を確認しておきましょう。

伝言の録音方法

171 にダイヤル

▼ 音声ガイダンスが流れる

再生の場合 ①

▼ 音声ガイダンスが流れる

被災者の方はご自分の電話番号を
被災者以外の方は被災者の電話番号を
市外局番からダイヤル

(X)X(X)X)X-X-X(X)X

▼ 音声ガイダンスが流れる

伝言の録音をする(30秒以内)

伝言の再生方法

171 にダイヤル

▼ 音声ガイダンスが流れる

再生の場合 ②

▼ 音声ガイダンスが流れる

被災者の方はご自分の電話番号を
被災者以外の方は被災者の電話番号を
市外局番からダイヤル

(X)X(X)X)X-X-X(X)X

▼ 音声ガイダンスが流れる

伝言の録音内容を確認する

宮崎県危機管理局危機管理課

〒880-8501 宮崎市橋通東2丁目10番1号(宮崎県庁1号館5階)
TEL: 0985-26-7066 FAX: 0985-26-7304
E-mail: kiki-kikikanri@pref.miyazaki.lg.jp

宮崎県防災・防犯情報メールサービス実施中!

気象情報や災害時の防災情報、防犯情報、家畜疾病情報などを無料配信します。

登録方法 bousai.miyazaki-pref@raidan2.ktaiwork.jp宛てに
空メールを送信してください。
(登録無料・パケット通信料のみ自己負担) 宮崎県防災メール 検索



災害は突然 やってきます!

大雨 台風 地震



命を守る

耐震化 早期避難 備蓄

3つの行動



日本の
ひなた
宮崎県

命を守れますか？
 その時、
 やってきます！
災害は突然

大規模災害から命を守る3つの行動

耐震化

早期避難

備蓄

大規模災害が発生した時に、一番大切なのは自分や家族の命を守ることです。この3つは、今すぐ取り組んでいただきたい命を守る行動です。すぐに完璧に取り組めなくても、できることから始めましょう！

1 家の耐震化と家具の転倒・落下防止を！

2 危険を感じたら安全な場所へ早めの避難を！

3 災害後1週間は備蓄で乗り切る準備を！

家具の転倒防止

『L字金具』や『ベルト式器具』、『突っ張り棒』などで壁や天井と固定させましょう。

家具配置の工夫

家具が倒れた時に出入り口をふさいだりしないよう、家具の向きや配置を工夫しましょう。

警戒レベルを確認 早めの避難

災害発生危険性が高まるにつれて、防災気象情報（気象庁）や避難情報（市町村）が発表・発令されます。

避難場所や避難経路の確認

いざというとき、安全に避難行動ができるように、避難場所はどこか、安全な避難経路はどこかなどを、ハザードマップなどで確認しておきましょう。

まず必要なのは水と食料

最低3日分（できれば1週間分）の水と食料を備えておきましょう。

家庭状況によって必要な物は変わる

乳幼児がいる、寝たきりの高齢者などの要介護者がいるなど各家庭の事情に応じた備えが必要です。

住まいの耐震化

地震の激しい揺れは、家屋を倒壊させる恐れがあります。きちんと耐震診断をして、問題があれば補強工事などを行いましょう。

立入り禁止

気象情報や市町村の避難情報を参考に、**早めの避難を心がけてください！**
 その行動が周囲の避難を促し、命を救うことにもなります。

警戒レベル	行動を促す情報	住民がとるべき行動
警戒レベル 5	災害発生情報【市町村が発令】 大雨特別警報【気象庁が発表】	命を守る行動を！
警戒レベル 4	避難指示【緊急】【市町村が発令】 避難勧告【市町村が発令】 土砂災害警戒情報【気象庁が発表】	全員避難！
警戒レベル 3	避難準備・高齢者等避難開始【市町村が発令】 大雨・洪水警報【気象庁が発表】	高齢者・障がい者・乳幼児などその支援者は避難する他の住民は準備を整える
警戒レベル 2	大雨・洪水注意報【気象庁が発表】	避難に備え避難行動を確認する
警戒レベル 1	早期注意情報【気象庁が発表】	災害への心構えを高める

※災害の状況によってはこの段階どおりに発令されず、突然の避難勧告や避難指示（緊急）が出されることがあります。

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人ひとり違います。それぞれが自ら判断し、適切な行動を取らなければなりません！

アウトドア用品は災害時に役立つ！

アウトドア用品は自然の中で使うことを想定しているので、機能性も高く災害時に非常に役立ちます。

宮崎県では、木造住宅の耐震診断・耐震改修に要する費用の一部を助成しています。

※補助制度の内容は市町村によって異なります。

申込・問合せ先 対象住宅のある各市町村建築担当課
 対象住宅 昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅（戸建て、長屋及び共同住宅）
 申請者 対象住宅の所有者または居住者

ステップ1 耐震診断

診断費用について最大6万円補助
 耐震診断を実施する費用の一部を補助します。まずは、耐震診断を行い住宅の地震に対する安全性を確認しましょう。

ステップ2 総合支援制度

耐震補強工事を行うことにより、その工事費の一部を補助します。（段階的に工事を行い耐震性を満足させる方法もあります。）

一般型耐震改修工事	最大100万円補助（工事費の80%）
段階型耐震改修工事	1段階 最大60万円補助（工事費の80%） 2段階 最大40万円補助（工事費の80%）

賢く備蓄 消費しながら備蓄するローリングストック法のススメ

食料・飲料水の確保には、普段買い物をする際に必要な分より多めに購入し、消費したらその分補充する「ローリング・ストック」という方法が効果的です。専用の備蓄食を管理することなく、普段の生活の中で意識せずに備蓄することができます。

- ① 多めに購入する
- ② 定期的に消費する
- ③ 定期的に補充する

②と③を繰り返す

食料品だけでなく、日用品にも応用できるよ。